

第7章 計画の推進と評価

第2節 計画を評価するための目標

疾病・事業ごとの「良質かつ適切な医療を効率的、継続的に提供する体制」の確保に向けて、定量的な比較評価が行えるよう、次のとおり目標を定めます。
(第3章の再掲)

[が ん]

指標区分	指標名(単位)		計画策定時	現状値	目標値(R5)	目標数値の考え方	現状値の出典(年次)
体制整備	がん診療連携拠点病院数(か所)		20	20	21	現状より増加	厚生労働省がん対策情報(令和2年)
実施件数等	がん検診受診率(%)	胃	35.0	34.0	50.0	現状より増加	令和元年国民生活基礎調査[厚生労働省]
		肺	36.4	37.8	50.0	現状より増加	令和元年国民生活基礎調査[厚生労働省]
		大腸	34.1	34.6	50.0	現状より増加	令和元年国民生活基礎調査[厚生労働省]
		子宮頸	33.3	30.7	50.0	現状より増加	令和元年国民生活基礎調査[厚生労働省]
		乳	31.2	30.1	50.0	現状より増加	令和元年国民生活基礎調査[厚生労働省]
		喫煙率(%)	24.7	22.6	12.0以下	現状より減少	令和元年国民生活基礎調査[厚生労働省]
住民の健康状態等	がんによる75歳未満年齢調整死亡率(%)	男性	111.1	99.8	全国平均以下	現状より減少(H27:99.0)	平成30年度人口動態調査[厚生労働省]
		女性	68.0	66.1	全国平均以下	現状より減少(H27:58.8)	平成30年度人口動態調査[厚生労働省]

* 「北海道がん対策推進計画」に準拠

[脳卒中]

指標区分	指標名(単位)	計 画 策 定 時	現 状 値	目 標 値 (R5)	目 標 数 値 の 考 え 方	現 状 値 の 出 典 (年 次)	
体 制 整 備	急性期医療を担う医療機関数(か所)	61	54	61	現状維持	北海道保健福祉部調査 急性期医療の公表医療機関 (令和元年4月1日現在)	
	回復期リハビリテーションが実施可能な 医療機関がある第二次医療圏数(医療 圏)	21	21	21	現状維持	北海道保健福祉部調査 回復期医療の公表医療機関 (令和元年4月1日現在)	
実 施 件 数 等	喫煙率(%) *	24.7	22.6	12.0	現状より減少	令和元年 国民生活基礎調査 [厚生労働省]	
	地域連携クリティカルパスを導入している 第二次医療圏数(医療圏)	15	15	21	現状より増加	北海道保健福祉部調査 (令和元年4月1日現在)	
住 民 の 健 康 状 態 等	高血圧有病者の割合(%) (40~74歳) *	男性	58.6	58.6	40.0	現状より減少	平成28年健康づくり道民調査
		女性	42.1	42.1	30.5	現状より減少	
	在宅等生活の場に復帰した患者の割合 (%)	59.2	55.9	61.3	現状より増加	平成29年患者調査 (個票)二次医療圏 [厚生労働省]	
	脳血管疾患患者の年齢調整 死亡率(%) (人口10万対) *	男性	34.7	34.7	32.0	現状より減少	平成27年人口動態統計特殊 報告[厚生労働省]
女性		21.0	21.0	20.1			

* 「北海道健康増進計画」(平成25年度~令和4年度)と調和を図る指標の目標値については、令和5年度も維持・向上とする。

[心筋梗塞等の心血管疾患]

指標区分	指標名(単位)	計 画 策 定 時	現 状 値	目 標 値 (R5)	目 標 数 値 の 考 え 方	現 状 値 の 出 典 (年 次)	
体 制 整 備	急性期医療を担う医療機関数(か所)	67	58	67	現状維持	北海道保健福祉部調査 急性期医療の公表医療機関 (令和元年4月1日現在)	
	心血管疾患リハビリテーションが実施可能な医療機関がある第二次医療圏数(医療圏)	13	13	21	現状より増加	診療報酬施設基準 [厚生労働省] (令和元年3月1日現在)	
実 施 件 数 等	喫煙率(%) *	24.7	22.6	12.0	現状より減少	令和元年 国民生活基礎調査 [厚生労働省]	
	地域連携クリティカルパスを導入している第二次医療圏数(医療圏)	12	12	21	現状より増加	北海道保健福祉部調査 (令和元年4月1日現在)	
住 民 の 健 康 状 態 等	高血圧有病者の割合(%) (40~74歳) *	男性	58.6	58.6	40.0	現状より減少	平成28年健康づくり道民調査
		女性	42.1	42.1	30.5		
	急性心筋梗塞年齢調整死亡率 (%) (人口10万対) *	男性	14.5	14.5	13.5	現状より減少	
		女性	5.5	5.5	5.2		

* 「北海道健康増進計画」(平成25年度~令和4年度)と調和を図る指標の目標値については、令和5年度も維持・向上とする。

[糖尿病]

指標区分	指標名(単位)	計 画 策 定 時	現 状 値	目 標 値 (R5)	目 標 数 値 の 考 え 方	現 状 値 の 出 典 (年 次)	
体 制 整 備	特定健診受診率(%)	39.3	42.1	70.0	現状より増加	特定健康診査・特定保健指導に関するデータ (平成29年) [厚生労働省]	
	特定保健指導実施率(%)	13.5	15.5	45.0	現状より増加		
実 施 件 数 等	糖尿病治療継続者の割合(20歳以上) (%) *	59.8	59.8	64.0	現状より増加	平成28年健康づくり道民調査	
	地域連携クリティカルパスを導入している医療機関数(か所)	373	456	485	現状より増加	北海道保健福祉部調査 (令和元年4月1日現在)	
住 民 の 健 康 状 態 等	HbA1c値が6.5%以上の者の割合(%) (40~74歳)	男性	8.5	9.0	8.0	現状より減少	特定健康診査・特定保健指導に関するデータ (平成28年) [厚生労働省]
		女性	3.8	4.1	3.3		
	糖尿病性腎症による新規人工透析導入患者数(人) *	688	808	660	現状より減少	日本透析医学会調べ「わが国の慢性透析療法の現況」 (平成30年度)	

* 「北海道健康増進計画」(平成25年度~令和4年度)と調和を図る指標の目標値については、令和5年度も維持・向上とする。

[精神疾患]

指標区分	指標名(単位)	計画策定時	現状値	目標値(R5)	目標数値の考え方	現状値の出典(年次)
体制整備	認知症疾患医療センター(地域型・連携型)の整備数(医療機関数) *	18	22	30	現状より増加	北海道保健福祉部調査 (計画開始時の最新値:平成29年4月時点 現状値:令和2年4月時点)
住民の健康状態等	入院後3か月時点での退院率(%)	59.4	—	69.0	現状より増加	厚生労働省 精神保健福祉資料 (平成27年度)
	入院後6か月時点での退院率(%)	79.3	—	86.0	現状より増加	厚生労働省 精神保健福祉資料 (平成27年度)
	入院後1年時点での退院率(%)	87.2	—	92.0	現状より増加	厚生労働省 精神保健福祉資料 (平成27年度)
	精神病床から退院後の1年以内の地域における平均生活日数(地域平均生活日数)(日)	—	316	316	現状維持以上	令和元年度厚生労働科学研究費補助金「地域の実情に応じた医療提供体制の構築を推進するための政策研究」 (平成28年)

* 21圏域のうち未整備圏域の医療資源や地域バランスに配慮して整備

[救急医療]

指標区分	指標名(単位)	計画策定時	現状値	目標値(R5)	目標数値の考え方	現状値の出典(年次)
体制整備	在宅当番医制等初期救急医療の確保市町村割合(%)	100	100	100	現状維持	北海道保健福祉部調査 (令和2年3月現在)
	病院群輪番制の実施第二次医療圏数(医療圏)	21	21	21	現状維持	北海道保健福祉部調査 (令和2年3月現在)
	救命救急センターの整備第三次医療圏数(医療圏)	6	6	6	現状維持	北海道保健福祉部調査 (令和2年3月現在)
	ドクターヘリの運航圏の維持(運航圏)	全道運航圏	全道運航圏	全道運航圏を維持	現状維持	北海道保健福祉部調査 (令和2年3月現在)
実施件数等	救急法等講習会の実施第二次医療圏数(医療圏)	20	20	21	現状より増加	北海道保健福祉部調査 (令和2年3月現在)
	救急自動車による搬送時間が1時間以上の救急患者割合(%)	8.4	9.2	全国平均以下	全国平均以下を維持 (H27:9.8)	北海道総務部「平成30年消防年報」(平成29年救急救助年報)
救急患者の予後等	心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヶ月後生存率(%)	17.0	13.9	全国平均以上	全国平均以上を維持 (H27:13.0)	救急・救助の現状 [消防庁] (平成30年度版)
	心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヶ月後社会復帰率(%)	10.1	8.5	全国平均以上	全国平均以上を維持 (H27:8.6)	救急・救助の現状 [消防庁] (平成30年度版)

[災害医療]

指標区分	指標名(単位)	計 画 策定時	現状値	目標値 (R5)	目標数値 の考え方	現状値の 出典(年次)
体 制 整 備	災害拠点病院整備第二次医療圏数(医療圏)	21	21	21	現状維持	北海道保健福祉部調査 (令和2年4月現在)
	北海道DMAT指定医療機関整備第二次医療圏数(医療圏)	21	21	21	現状維持	北海道保健福祉部調査 (令和2年4月現在)
	災害拠点病院における耐震化整備率(%)	97.1	100	100	現状より増加	北海道保健福祉部調査 (令和2年4月現在)
	災害医療コーディネーター任命数	—	46	44	現状維持	北海道保健福祉部調査 (令和2年4月現在)
	災害時小児周産期リエゾン任命数	—	8	9	現状より増加	北海道保健福祉部調査 (令和2年4月現在)
実 施 件 数 等	災害拠点病院における業務継続計画(BCP)の策定率(%)	41.2	100	100	全災害拠点病院での策定	北海道保健福祉部調査 (令和2年4月現在)
	EMIS操作を含む研修・訓練を実施している病院の割合(%)	—	18.6	100	全病院での実施	北海道保健福祉部調査 (令和2年4月現在)

[へき地医療]

指標区分	指標名(単位)	計 画 策定時	現状値	目標値 (R5)	目標数値 の考え方	現状値の 出典(年次)
体 制 整 備	へき地診療所数(か所)	93	93	98	現状より増加	へき地医療現況調査 [厚生労働省] (平成31年1月1日現在)
実 施 件 数 等	巡回診療、医師派遣、代診医派遣のいずれかを実施するへき地医療拠点病院数(か所)	9	8	19	現状より増加	へき地医療現況調査 [厚生労働省] (平成31年1月1日現在)
	遠隔診療等ICTを活用した診療支援を実施するへき地医療拠点病院数(か所)	3	3	19	現状より増加	へき地医療現況調査 [厚生労働省] (平成31年1月1日現在)

[周産期医療]

指標区分	指標名(単位)		計 画 策 定 時	現 状 値	目 標 値 (R5)	目 標 数 値 の 考 え 方	現 状 値 の 出 典 (年次)
体 制 整 備	分娩を取り扱う医療機関数(か所)	15-49歳女性 10万人当たり	8.5	8.8	全国平均以上	現状より増加(H26:8.7)	医療施設調査(静態)[厚生労働省](平成29年)
	産科・産婦人科を標ぼうする病院、診療所の助産師外来開設割合(%)		18.5	24.2	全国平均以上	現状より増加(H26:19.6)	北海道保健福祉部調査(平成31年4月現在)
	総合周産期母子医療センター(指定)の整備医療圏数(第三次医療圏)		4	4	6	第三次医療圏に1か所	北海道指定(令和2年4月現在)
	地域周産期母子医療センター整備医療圏数(第二次医療圏)		21	21	21	第二次医療圏に1か所	北海道指定(令和2年4月現在)
実 施 件 数 等	母体・新生児搬送のうち現場滞在時間が30分以上の件数(人口10万人当たり件数)		3.2	1.9	全国平均以下	全国平均以下を維持(H27:4.5)	救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査(平成30年度)
安 全 に 出 産 可 能 な 体 制	新生児死亡率(千対)	出生数	1.0	1.0	全国平均以下	現状より減少(H27:0.9)	平成30年人口動態調査[厚生労働省]
	周産期死亡率(千対)	出生数+妊娠満22週以降の死産	4.1	3.6	全国平均以下	現状より減少(H27:3.7)	平成30年人口動態調査[厚生労働省]
	妊産婦死亡率(10万対)	出生数+死産数	2.6	3.3	全国平均以下	全国平均以下を維持(H27:3.8)	平成30年人口動態調査[厚生労働省]

[小児医療]

指標区分	指標名(単位)		計 画 策 定 時	現 状 値	目 標 値 (R5)	目 標 数 値 の 考 え 方	現 状 値 の 出 典 (年次)
体 制 整 備	小児医療を行う医師数(人口1万人対)(人)		15.3	15.5	全国平均以上	現状より増加(H28:17.6)	平成28年 医師・歯科医師・薬剤師調査[厚生労働省]
	小児の訪問看護を実施している訪問看護事業所のある第二次医療圏数(医療圏)		5	7	21	全圏域での実施	平成30年度 NDB[厚生労働省]
	小児の訪問診療を実施している医療機関のある第二次医療圏数(医療圏)		7	8	21	全圏域での実施	平成30年度 NDB[厚生労働省]
体 制 確 保 に 係 る 圏 域	小児二次救急医療体制が確保されている第二次医療圏数(医療圏)		20	20	21	全圏域での確保	北海道保健福祉部調べ(令和2年4月現在)
	北海道小児地域医療センター、北海道小児地域支援病院による提供体制が確保されている第二次医療圏数(医療圏)		20	20	21	全圏域での確保	北海道保健福祉部調べ(平成31年4月現在)
住 民 の 健 康 状 態 等	乳児死亡率(千対)	出生数	2.2	1.9	全国平均以下	現状より減少(H28:2.0)	平成30年人口動態調査[厚生労働省]

[在宅医療]

指標区分	指標名(単位)	計画策定時	現状値	目標値(R5)	目標数値の考え方	現状値の出典(年次)
体制整備	訪問診療を実施している医療機関数(人口10万人対) (医療機関数)	15.4	15.2	19.9 (暫定値)	現状より増加 (医療需要の 伸び率から推計)	平成30年度 KDB [厚生労働省]
	機能強化型の在宅療養支援診療所*1 又は病院*2 のある第二次医療圏数(医療圏)	12	12	21	全圏域での確保	北海道保健福祉部調査 (令和2年4月現在)
機能ごとの 体制	退院支援を実施している医療機関のある第二次医療 圏数(医療圏)	20	20	21	全圏域での実施	平成30年度 NDB [厚生労働省]
	在宅療養後方支援病院のある第二次医療圏数(医療 圏)	9	10	21	全圏域での確保	北海道保健福祉部調査 (令和2年4月現在)
	在宅看取りを実施する医療機関のある第二次医療圏 数(医療圏)	20	19	21	全圏域での実施	平成30年度 NDB [厚生労働省]
多職種の 取組確保等	24時間体制の訪問看護ステーションのある第二次医 療圏数(医療圏)	19	19	21	全圏域での確保	平成29年介護サービス施設・ 事業所調査 [厚生労働省]
	歯科訪問診療を実施している診療所のある第二次医 療圏数(医療圏)	21	21	21	現状維持	平成30年度 NDB [厚生労働省]
	訪問口腔衛生指導を実施している診療所・病院がある 第二次医療圏域数	-	20	21	全圏域での確保	平成30年度 NDB [厚生労働省]
	訪問薬剤管理指導・居宅療養管理指導を実施する薬 局のある第二次医療圏数(医療圏)	21	21	21	現状維持	平成30年度 NDB、介護DB [厚生労働省]
実施件数等	訪問診療を受けた患者数[1か月当たり] (人口10万人対)(人)	425.1	487.1	635.6 (暫定値)	現状より増加	平成30年度KDB [厚生労働省]
住民の 健康状態等	在宅死亡率(%) ※	12.7	13.6	全国平均以上	現状より増加	平成30年人口動態調査 [厚生労働省]

※ 自宅、老人ホーム(養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホーム)での死亡率